



題字は松井岳洋筆

No. 423
平成26年5月

発行

(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 内山岳青

編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸1-7-28

Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

師と弟子



監事 市川岳穂

「お祝いに焼き肉に行こうか！」奥伝を取った頃の亡師加藤岳相先生のことばである。

約30年前の夏、見学がてらに初めて訪問した教場に加藤先生がいました。「市川君、中伝までは口を大きく、声も大きく出すと自然に分かってくるから」「ハイ」

先生の声量は素晴らしく大きく、熱意は聞く人に目をしばたせる情熱を与える印象でした。「初めは気持ち大きき、まっすぐ前を見て素直に声を出す、中身は後からついてくるから」「ハイ」

人生では何人かの師に巡り合いますが、趣味の世界で加藤先生に巡り合ったことは、僥倖でした。30年間継続できたことも加藤先生との出会いがあったからでしょう。

初めの時期、先生との会話はいつも「ハイ、

ハイ」会社の世界とは異次元の空気が流れていました。学生時代の体育会ではおよそ2年先輩には同様の態度でした。先生との年齢差は約20歳、師の生きてきた厳しさや戦争経験の体のきしみは戦後生まれの私には理解不可能でした。詩吟練習の師弟関係は仕事のしがらみから解放されストレートに自由な時間帯でした。サラリーマンから独立し自営業となつてからは時間の自由が生まれ、晩年、杖をついて歩く先生を教場まで車で送り迎える習慣となり、皆伝の頃からでしょうか車中で師弟から少しゆるんで、ユーモアをお互いに言い合うムードに変わってきたようです。

当時十段課題吟『同じころ 良寛』練習時に亡師加藤岳相先生は**毗**を決つて言われました。

「市川君、お返しをするんだぞ、いいね」「ハイ」

行事予定

詩吟体験教室 **Let's SHIGI ~NI**

・日時 5月17日(土) 午後1時~2時30分
・日時 6月14日(土) 午後1時~2時30分

場所 葉山町立図書館ホール

神静地区吟詠大会

日時 5月22日(木) 開会10時

場所 小田原市民会館

第23回神岳連青少年吟詠大会

日時 6月8日(日) 開会10時

場所 金沢公会堂

第4回神静地区師範吟詠大会

日時 6月15日(日)

場所 三島市民文化会館

碩心会吟詠温習会

日時 6月21日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大ホール

神静地区青年吟詠発表会

日時 7月6日(日)

場所 藤沢市民会館

第2回全国青年吟道大会

日時 8月9日(土)

場所 小岩アーバンプラザ

碩心会夏季吟道講座

日時 8月23日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

昇伝段位認許

(平成26年4月1日付)

少年 2名

180 吉田朋之進(少五級) 181 島袋泰成(少六級)

初段 6名

167 松浦みづき 217 佐々木康子 221 上本里子

222 三並哲治 223 結城正吾 224 岩田文男

二段 5名

198 馬場奎子 201 中島千津子 203 野村京子

206 井上裕之 214 小金井敏幸

初伝 6名

194 本多菊泉 196 新井洋泉 197 山田眞泉

199 伊藤琴泉 200 片桐泰泉 208 寺山紀泉

三段 3名

191 永田穂泉 192 金澤正泉 193 津呂知泉

四段 3名

177 吉田桜泉 185 伊藤洋泉 187 山口青泉

中伝 4名

168 山中郁山 171 吉田深山 172 白石雅山

173 常盤仙山

五段 1名

163 古敷谷江山

六段 3名

奥伝 2名

153 加藤茗山 154 永田静山 155 村田謙山

七段 4名

137 鈴木康風 138 山崎勝風

124 渡辺恵風 125 岡田麗風 126 山下信風

八段 1名

127 藤崎洋風 117 坂上葉風

春季審査会を受審して

渚支部 伊藤琴泉

3月29日(土)「春季審査会」が葉山町福祉文化会館で開かれました。創立77年の歴史を誇る碩心会と時を同じくして、私もほぼ同じ歳月を重ねてきました。ご縁があつて会員となり一年半、この日は初伝を受けました。審査員の先生方の前では1分半の出番にもかかわらず今回も緊張してしまいました。午前の部の講評をされた加藤顧問が「声を出したらその声が多く人に感動してもらえるかどうか考えること。そのためにはお腹に入れた空気を落ち着かせてから吟じ始めること。吟道奥義抄とNHKの趣味の講座で肛門をキチンと閉めることが大切で、芯の締まった声になるとあり、腹式呼吸もしやすくなり

ます。これを私から皆さんへ今日のお土産に」と具体的かつ分かりやすいご指導を頂きました。

折角の機会なので午後の部も拝聴いたしました。午後の講評は内山会長で「総じてよくできました」と受審者の労をねぎらいながら、巧みな話術で吟じ方の核心にも触れて「近代詩・律詩などは同じ調子でやらないこと。俳句は軽快さに欠けている人が多かったです。漢詩・和歌・俳句・近代詩いずれも緩急・強弱・間をもつと研究してください」とのご指摘が印象に残りました。

尚齒会全国吟道大会に参加

紫陽花支部 曾村静岳

桜の開花宣言が待たれる3月27日(木)、日本教育会館に於いて標記大会が開催されました。

午前10時開会、朗詠に続きすぐ会員吟詠に入りました。私達の出番は午後の最後のほうなので全国各地から参加された会員の方たちの吟詠をゆつくり聞く事が出来ました。遠方より参加の方々は疲れも見せず素晴らしい吟詠を聞かせて頂き感動しました。お弁当の到着が遅れ、午後の部の20番を午前中に前倒しました。午後1時の開会前に90歳以上の紹介及び写真撮影がおこなわれ埼玉県の女性会



員(94歳)1名だけで、木村岳風先生のお弟子さんだそうでまだまだお元氣の様子でした。私達の合吟も無事終え進行も予定通り進み、3時前には閉会となりました。
全国大会は初めての経験で緊張しましたが、その余韻の残るなか帰路につきました。

感動の全国大会

酔吟支部 今井重風

感動と感激の一日でした。去る3月16日に日経ホールで行われた第5回全国認可団体代表吟道大会に出席させて頂きました。

大会は午前10時からの開会式に続き、会員による吟詠です。午前と午後にわたり、合計100名の会員の吟が続きました。さすがに全国から選ばれた吟者です。その一吟一吟は心の奥底まで沁み渡りました。今大会の吟は全て

マイク無しの肉声です。それだけに吟者と客席が一体となり、緊張感漂う大会でした。

しかし何と言っても庄巻は、碩心会を代表して壇上に立った、我が酔吟支部の行谷隆岳師匠の熱吟でした。並み居る吟者の中で良寛作の「半夜」を堂々と詠ずる師匠の姿に心が熱くなり、また我らの師匠である誇りを強く感じました。素晴らしい吟でした。師匠、これからもよろしくご指導をお願いします。

大会では、また機関誌「吟道」に毎号連載されている「日本漢詩の旅」を会員代表が吟じ、最後は役員吟詠で幕となりました。

私は初めて全国大会の熱気に触れ、詩吟の魅力に陶醉した一日でした。この感動を忘れずに、これからも碩心会の会員である自覚と誇りを持って稽古に励みたいと思います。

2月、3月の「詩吟体験教室」

日本の伝統文化である詩吟の継承と普及を目的とし、地域の文化活動に活発に参加する碩心会の原動力は何と言っても会員数。あなたも詩吟を始めませんか！と詩吟体験のない方にも呼びかけ、詩吟の楽しさを知ってもらうと、今年もレッツ詩吟が始動した。

第1回の詩吟体験教室は内山岳青会長を講師に迎えて、2月23日に逗子交流センターで開催、15分で覚えられる吟詠法と題して――

「富士山 石川丈山」の吟じ方を講義、吟符の理解と正しい節調を丁寧に説明。続く3月23日も内山会長が講師を務められ、身近な材料で詩吟を楽しもうと俳句を題材に――

赤い花 白い花と落ちにけり 碧吾桐

分け入っても分け入っても 青い山 山頭火

素説に始まる吟詠の要点指導は、真剣な中にも笑いを呼びながら進む。河東碧吾桐は高浜虚子と共に、近代俳句・短歌の革新者、正岡子規門下の双璧であり、山頭火は行乞放浪の俳人であるとか、作者の人物像にも解説が及び、作品の背景を知ると、吟じる上で一層、詩情が広がる。勿論、講義のテーマである身近な材料として次の作品も学習。

生きてるだけで丸もうけ 明石家さんま

春待つやアリスサムの花身を寄せて 花屋さん

親近感を覚える身近な作者や作品で詩吟を楽しむ。材料にはこと欠かない。 常盤

支部開設のお知らせ

平成26年3月

支部名「やよい支部」(渚支部より一部分離)

構成員 (指導者) 菊池世岳

(支部長) 渡辺岳雲

(会 員) 鈴木岳倅・山下信風

加藤茗山・山口青泉

結城正吾

雅号の由来

滝の坂支部 今井桐岳

私が詩吟を始めたのは29歳でした。その後、長野に転勤、近くに岳風流がありましたので入会し、有意義かつ充実の4年間でした。その後の転勤で同じ流派を探しましたが近くにありませんでしたので、断念。10数年が過ぎ次の転勤先で町を歩いていたら『岳風流』の看板がありましたので門を叩いて再入門の2年間でした。またまたの転勤で中断。当地に戻り、下山口教場に中学時代の同級生沼田岳東氏の縁で再々入門、その後、支部解散となりました。碩心会創立70周年記念事業の時『弓道吟』のご指導を頂いた上村岳章先生の滝の坂支部にお世話になり、現在に至っています。

ところで本題の雅号の由来ですが、この世に生を受け最初に両親から授かった名前の一文字『俊』を使った雅号でしたが、この度、下岳を付けることになり、いろいろ考えた末、先祖からの贈り物、シンボルでもあります家紋を使うことに致しました。

我が家の家紋は『丸に五三の桐』です。家族はもとより、多くの方々に覚えて頂くために家紋の一字『桐』を使い『桐岳』と致しました。今後、名前に恥じぬよう、そして、健康維持のためにも精進して参りたいと思えます。

葉山で詩吟・詩舞コンサート

葉山地区長 加藤岳美

去る2月21日(金)、長柄にある『アンコール葉山』に於いて会員と佳香会、京愛会の方のご協力により、吟詠・吟詠歌謡のコンサートを行いました。この施設は昨年6月、多機能型居宅介護施設としてオープンしました。代表者は声楽家として別の顔を持ち、当日はピアノ伴奏をお願いし『武田武士』をコラボしました。

会場のリクエストに答え何曲かソプラノを披露され和やかな一日でした。

平成 26 年度 碩心会 初吟会 会計報告			
	科 目	金 額	摘 要
収入の部	前期繰越金	3,236 円	前年より
	参加費	556,000 円	139 名 × 4,000 円
	雑収入	22,000 円	新総伝者より祝儀、来賓3名、その他
	合計	581,236 円	
支出の部	式典・新年会	44,300 円	ホール、大会議室使用料
	飲食代	479,284 円	弁当、オードブル、ビールその他
	参加賞	14,765 円	余興参加賞
	傷害保険	3,915 円	東京海上日動火災保険
	事務、通信費	6,793 円	コピー、Fax、文具
	会議費	6,000 円	打ち合わせ
	運送、交通費	8,000 円	物品搬送
	雑費	14,000 円	看板枠作成、酒瓶シール、その他
	次期繰越金	4,179 円	企画部預かり
	合計	581,236 円	

会員の動き

*退会

- | | |
|---------------|----------------|
| 7 中村岳愛 (諏訪) | 8 中村岳郵 (諏訪) |
| 26 石月岳翹 (澗朗) | 48 中山岳香 (篁風) |
| 54 石井岳虹 (長柄) | 77 中村豊岳 (篁風) |
| 78 鈴木清岳 (一色) | 94 和田亮岳 (真澄) |
| 145 栗原俊山 (篁風) | 164 伊戸田喜山 (幸和) |

*支部長変更

- | | |
|------|-----------|
| 真澄支部 | 青木岳紅→村上遥山 |
| 長柄支部 | 石井岳虹→加藤典泉 |

*住所変更

- 101 菊池世岳 (渚) Tel046-887-0517
 新住所：逗子市沼間 1-1-15-505
 160 野村耀山 (一色)
 新住所：葉山町堀内 483-1 葉山グリーンプラザ 305

*お詫びと訂正

- 峯岸康之を峰岸康之に訂正いたします。

編集後記

前号422号より印刷所が変わり、一部カラー印刷となりコストも下がりました。どんな詩でも愛吟し吟じ続ける事でその詩から見えてくる背景、作者の心が垣間見えてくる気がします。

優れた詩歌は感動を与えてくれます。私達はこうした文化をしっかりと受け継ぎ後世に伝えてゆきたいものです。

広報部

26年4月1日現在会員数	
葉山地区	73名
逗子地区	112名
合計	185名